

## 農業農村工学系の大学生のための技術研究所の見学会のご案内

(一社)土地改良建設協会

### 応募期間を延長！農水省の若手とも意見交換

下記の見学会のご案内について応募期間を7月31日(水)まで延長します。なお、6月28日(金)までにご応募頂いた方については、早期に航空券等の手配が出来るよう7月5日(金)までに決定し、ご連絡します。

また、今回の見学会では、農林水産省の若手技術者を加えた懇談会を予定していますので、今後の学科やコース選択に当たり、貴重な助言も得られると思います。

### 土木技術の最先端を見学しませんか？

(一社)土地改良建設協会では、土木工学や農業農村工学の魅力を学生に伝えるために、(公社)農業農村工学会と連携して、農業農村工学系の学部・学科の学生に対して、会員企業の技術研究所の見学会を開催しています。

令和元年度の第1回見学会は下記の予定です。参加を希望される学生は、1 住所、氏名、電話番号、2 大学名、現在所属の学部・学科名、及び学年、3 当見学会をご紹介いただいた教員名とその方法(授業で紹介、学科の掲示板に掲示、教員からのメールなど)、4 見学を希望する理由(簡潔に100字以内)、5 見学希望対象施設名(大林組技術研究所又は清水建設技術研究所)を記して、6月28日(金)までに当協会(jigyo@dokaikyo.or.jp)宛に顔写真を添付の上、件名を「技術研究所見学会希望」としてメールしてください。

#### 記

- 1 大林組技術研究所                      令和元年9月2日(月)13時半から16時  
東京都清瀬市(西武池袋線清瀬駅に13時に集合)
- 2 清水建設技術研究所                      令和元年9月10日(火)13時から15時  
東京都江東区(JR京葉線越中島駅に12時40分集合)

研究所見学の終了後に、軽食を取りながら技術研究所関係者や農林水産省関係者を含めた懇談会を開催しますので、解散は18時前後になります(これまでの参加者からは、懇談会で貴重な情報が多く得られたと評価されています)。

また、見学会終了後、2週間以内に1200字程度の感想等を提出することが条件となります(会誌「土地改良」に掲載した場合には、5千円の原稿料を支給します)。

なお、旅費の支援として、当協会から、①東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県管内の大学の学生に対しては2千円、②茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、静岡県管内の大学の学生に対しては5千円、③東北、北陸、東海、近畿農政局管内及び長野県管内の大学の学生には、1万円、④中国四国農政局管内の大学の学生には、1万5千円、⑤北海道、九州農政局、沖縄の管内の大学の学生には、2万円を支給します。参加人数は、1及び2とも各10から20名程度を予定しています。応募者多数の場合は、当協会で選考します。

各施設の内容は、各研究所のHPを参照してください。